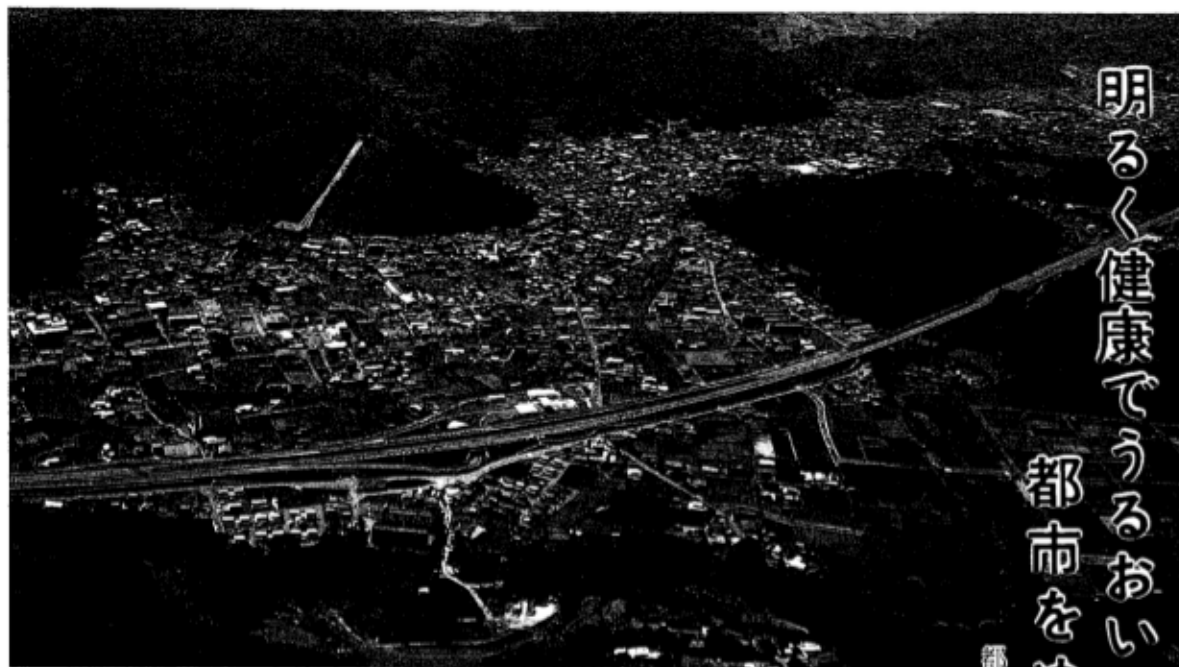




▲都留インター付近（上空約500mより撮影 60年5月）

明るく健康でうるおいのある 都市をめざして

都留市長 都倉昭二



昭和六十一年の年頭にあたり、市民の皆様にご挨拶申し上げます。昨年、市長選挙におきまして市民の皆様をはじめ、各方面の力強いご支援と温かいご厚情を賜わり幸いにして当選の栄に浴し、都留市長に就任いたしました。

その重責をあらためて痛感するとともに、市政を担当するにあたり、公正で民主的な行政運営を行い、市民の一層の幸せを念じ、明るいまちづくりを推進してまいれる所存であります。

地方行政も引き続きその基調は厳しいものがありますが、このような状況下にあつて住民福祉の増進による一層

豊かな地域社会の実現を図るためには、変化する社会経済、さらに各般の行政需要に適切に対応しつつ効率的かつ効果的に行政を推進していくことが必要であります。

そのためには、市民の英知と創造を集めた市民の手による行政運営が不可欠であります。

私は、市民総参加、対話の市政を信条とし、人間的なものの精神的なものに目を向け、人と人とのふれあいを通して物心両面にわたるきめ細かな環境づくりに努めてまいれる所存であります。

都留市の歴史をふりかえって見ます時、市民の英知を集め、地場産業の振興を図る一方で、精密機械などの企業誘致を積極的に行うとともに優れた環境を学園都市構想に向け、全国に誇りうる都留文化科大学を中心とした教育文化向上に力をそそぎ、調和のとれた都市づくりをめざし、今日の都留市の礎をつくり上げてまいりました。

私の責務は、都留市の持つ歴史の重みとかがやきと、そしてそれをつねに誇りとして生きてきた祖先の心を受け継いだ市民性を大切に、来るべき二十一世紀を展望し、高

齢化、技術革新、情報化などの新しい波をいかに行政で受けとめ、そして、創造性のある都市づくりをしていくかにあると痛感しております。いま、都留市の現状を見る時、将来の発展につながる重要な課題が山積しているといわざるを得ません。

○調和のとれた都市づくりのための「都市基盤の整備」

○市民の健康を守る「保健・医療の充実」

○高齢化社会へと急速に移行しつつある現状をふまえての「福祉の増進」

○小中学校・大学の教育環境づくりのための「教育施設の充実」

○若者が定着する魅力ある地域づくりのための「農林業の振興」

○街の活性化を図るための「商工業の振興」

などを総合的かつ計画的に推進するために第三次長期総合計画を策定し、公約した事項等について積極的に取り組み、あらゆる施策を十分検討し、